

講義コード	11C0228100	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	戸田 知行	開講期	通年
科目名	民法					戸田 知行		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	本年度は、民法（財産法（物権法、債権法）と家族法（親族法、相続法）からなる）のうち、物権法を取り上げる。まず、所有物をめぐって生じる様々な問題を検討することで、物を所有することの意味および物権の基本原理を理解する。他の物権は、主にその基本原理の応用としてみていく。基礎の習得が目的だが、各種資格・採用試験にも対応するため、かなり高度な内容にも踏み込む。								
到達目標	他人との間で生じた問題について、権利義務の関係として構成し、解決するという法的な判断ができるようになる。民法等の条文と判例から、実際の法規範が何かを自分で調べられるようになる。公務員試験や法律関係資格の受験のための民法の知識が身につく。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。出席者は、テキストを事前に読み、「わからない所」をはっきりさせて、講義に臨むこと。復習として、重要な論点について、講義のノート、配布したレジュメ、テキストなどから自分なりの整理ノートを作成すること。さらに、公務員試験等の受験希望者は、市販の問題集の該当箇所を解いてみることを。								
授業計画	【第1回】 ガイダンス、民法とは？ 【第2回】 所有権とは？ 無主物先占、所有権の証明 【第3回】 物の接触1（相隣関係） 【第4回】 物の接触2（相隣関係）、地役権 【第5回】 物の合体（添付） 【第6回】 共有1 【第7回】 共有2、建物の区分所有 【第8回】 物の破壊（不法行為責任）、物権の消滅 【第9回】 侵奪等・妨害1（物権的請求権） 【第10回】 侵奪等・妨害2（物権的請求権、占有訴権） 【第11回】 追及効の限界（遺失物拾得、埋蔵物発見、動物の取得、取得時効） 【第12回】 占有者と回復者との関係 【第13回】 占有権（残り）、金銭の所有権 【第14回】 物権法総論 【第15回】 地上権、永小作権、入会権 【第16回】 後期の導入、物権変動1：総論 【第17回】 物権変動2：不動産物権変動（解除等と登記） 【第18回】 物権変動3：不動産物権変動（取得時効と登記） 【第19回】 物権変動4：不動産物権変動（相続と登記） 【第20回】 物権変動5：不動産物権変動（177条の第三者） 【第21回】 物権変動6：不動産物権変動（物権変動の時期、物権変動と公示の関係） 【第22回】 物権変動7：動産物権変動、即時取得 【第23回】 担保物権法総論、留置権1 【第24回】 留置権2、同時履行の抗弁権 【第25回】 先取特権 【第26回】 質権 【第27回】 抵当権1（総論、効力） 【第28回】 抵当権2（消滅、根抵当） 【第29回】 譲渡担保 【第30回】 所有権留保								
成績評価の方法	中間試験と学年末試験の年2回のテストで評価する。								
フィードバックの内容	中間試験の解説・講評は、後期の最初の講義で行う。 学年末試験の解説に該当するものは、毎回配布するレジュメ中に、すでに記載してある。疑問がある人に対しては、出講日に訪ねてもらえれば、個別に対応する。								
教科書	『民法Ⅱ—物権〔第3版補訂〕』淡路剛久ほか（有斐閣）2010年								
指定図書	『民法判例百選1 総則・物権 第7版（別冊ジュリスト No.223）』潮見佳男・道垣内弘人（編集）（有斐閣）2015、『民法判例百選2 債権 第7版（別冊ジュリスト No.224）』中田裕康・窪田充見（編集）（有斐閣）2015								
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									